

第2回花巻市行政評価委員会会議録

1 開催日時

- (1) しごと部会 平成24年10月26日(金) 午後2時30分～午後4時30分
- (2) くらし部会 平成24年10月29日(月) 午前9時30分～正午
- (3) 人づくり部会 平成24年10月31日(水) 午後6時～午後9時

2 開催場所

- (1) しごと部会 花巻市花城町1-47 まなび学園 3階 第1会議室
- (2) くらし部会 花巻市花城町1-47 まなび学園 3階 第4学習室
- (3) 人づくり部会 花巻市花城町9-30 市役所本館 3階 302・303会議室

3 出席者

- (1) しごと部会
委員 4名
影山部会長、宮澤委員、伊藤(純)委員、高橋(セ)委員
事務局、施策及び事務事業担当課
- (2) くらし部会
委員 5名
木村部会長、高橋(則)委員、伊藤(成)委員、永井委員、高橋(勝)
事務局、施策及び事務事業担当課
- (3) 人づくり部会
委員 6名
倉原部会長、瀬川委員、阿部委員、久保田委員、福盛田委員、菊池委員
事務局、施策及び事務事業担当課

4 議題及び報告事項

評価対象の施策及び事務事業の評価を行った。

(1) しごと部会

◆施策：賑わいのある商店街の再生

【主な意見】

- ・17商店街全部を対象とするのは当然であるが、財源も限られているので、年度ごとにターゲットの商店街を決めて、事業を実施すべきではないか。商店街の歴史や地域特性に応じた施策が行われているかがわかりにくい。
- ・成果指標の実績で商店街における観光客の入込数を22万4千人としているが、17ある商店街のうち、どこが賑わっているのか不明確。17商店街全部必要ではないが、東和であれば街かど美術館、大迫であれば神楽など主な箇所の実績がほしい。
- ・対象指標が商店街における観光客の入込数としているが、観光客とはだれを指し

ているのか不明確であり、その捉え方を整理する必要がある。

- ・商店街に人がどれだけ来たかだけでは不十分であり、どれだけ地元が潤ったかが大事。金額を把握するのは難しいと思うが、そういう指標があれば良い。
- ・こだわり商品について記述があるので、ひえカレーなどの花巻ブランドの売り上げなどの指標があっても良いのではないか。
- ・「総合的なまちづくりの観点から施策を組み立てる」とあるが、商店街の定住人口や観光客に絞られた事業になっているので、大きなビジョンに沿った施策を行うべき。

○事務事業：商店街活性化事業

【主な意見】

- ・誘客が目的であるのに、成果指標がイベント数だけでは足りない。代表的なイベントについては人数などを指標にすると良いのではないか。
- ・顔づくり交付金は4地域に平等に交付しているが、やる気がある地域に手厚く交付したほうが良いのではないか。
- ・行政は総合的なまちづくりに取り組むという観点で施策を進めるべきであり、イベントの助成金だけで良いか疑問である。市街地に空き店舗や空き工場が多くあるが、そういう所に恒常的に人が来るような取り組みが必要である。
- ・それぞれのイベントの来街者が他の商店街にも流れる仕組みなど、商店街同士のネットワークを作ることが必要ではないか。
- ・イベント回数だけではなく、参加者がどう感じたかという声を把握する必要がある。補助金を交付した組合等から把握することも可能ではないか。

<再ヒアリングで聞きたい事項>

- ・イベント事業補助金の効果はどうであったか。

○事務事業：商店街魅力創出事業

【主な意見】

- ・事業名からはソフト事業のイメージを受けるが、内容はハード事業になっており事業名と事業内容が合致していないのではないか。
- ・商店街の活性化は、どの自治体でも新規出店者を支援するやり方をしているので、花巻独自の「賢治のまち」をテーマにした事業を行う方法もあるのではないか。
- ・郊外の大規模店舗に流れた人を呼び戻す意味では、人と人との繋がりを密にするためにふれあい広場を作ったり、街路灯をLEDにして外観を綺麗にすることは必要である。
- ・空き店舗対策の事業を行ったりすることも大事だが、どんな魅力を作りたいかというビジョンなり、10年後を見据えた事業展開、方向性が必要である。
- ・成果指標に、商店街共同施設補修の実績なども入れて良いのではないか。
- ・現在の事業は評価出来るが、これだけでは何年後かには商店街がもたなくなる。

市が、賑わいの一端を担うので、商店街も一緒に取り組みましょうという施策が必要。例えば福祉施設、文化施設など、街に人が集まる拠点の必要性を感じる。

- ・ハード事業は行っているが、ソフト事業も行った方が良いのではないか。

<再ヒアリングで聞きたい事項>

- ・ソフト事業で検討していることについて確認したい。

(2) くらし部会

◆施策：高齢者や障害者がまちで暮らす真のノーマライゼーションへの取り組み

【主な意見】

- ・国は、在宅でのケアへ方針転換してきており、地域が持っている支え合いの力を生かすためにも、地域包括ケアのあり方が重要である。地域包括支援センターのことを知っている方が少ないと思うので、地域で積極的に周知してはどうか。

○事務事業：高齢者在宅生活支援事業

【主な意見】

- ・グループホームは市内に15施設あるとのことだが、施設が増えすぎると入所者の奪い合いになるので、多ければ多いほどよいというものでもないと思う。

○事務事業：生活保護事業

事業内容に対する質疑

○事務事業：交流・生きがいがづくり支援事業

【主な意見】

- ・ふれあい昼食会について、経費だけ増えて参加率が変わらないのは良くない。参加しやすいように、小さい単位で実施してもよいのではないか。
- ・敬老会参加対象年齢が65歳以上だったが70歳、75歳と引き上げになった。年齢を引き上げずにみんなが参加できるようにしてほしい。
- ・参加者の生きがいにつながっていると思うので、廃止しないで続けてほしい。
- ・花巻中央地区は、以前は市民体育館が満員になるほどだったが、参加者は年々減っている。普段着で気楽に参加できることがいいという人もおり、地域ごとにやり方が違っていてもいいのではないか。

(3) 人づくり部会

◆施策：職員の意識改革と行政システム改革の推進

【主な意見】

- ・マネジメントシート自体の項目はいいと思うが、年数が経って設定数値がおかしいのであれば、指標を修正してもよいのではないか。
- ・施策マネジメントシートの項目1「施策の目的と指標、指標等の推移」、項目2「基

本計画期間における施策の目標設定とその根拠・方針」、項目3「施策の特性」の記載内容が分かりづらいので、項目4「施策の成果水準の振り返り」の内容が理解できない。

- ・行政評価システムが破綻している状態であれば、行政評価委員会の存在自体が必要なのではないか。
- ・評価が破綻しているという考えで評価システムを作っていくということであれば良いが、現在の仕組みで評価した時に、達成出来なかったかという判断をした場合、単純に能力がないということではないか。
- ・対象指標の見込値が現状と合っていないのであれば変える必要がある。先に設定しているという理由であるが、そこを改善して進めた方が整合性はとれるのではないか。
- ・修正すると最初の設定が不明となるため、一度決めた見込を変えないということは理解できる。指標を新たに追加して、別資料で示すのはどうか。
- ・当初考えた枠組みは残しておいて、それがどう変わっていったのか、改善されていったのか分かれば良いと思う。
- ・行政評価システムを作るなかで、さまざま議論してきたと思うが、プロセスが分かれば理解出来ると思う。どういう経緯でこうなったとの説明があると理解しやすい。

○事務事業：行政改革推進事業

【主な意見】

- ・事業目的「行政運営の効率化と市民サービスの維持・向上」に対して、目的と成果指標が合うのか疑問である。
- ・成果指標を入れることがそぐわない事業もある。定量評価のほか定性評価も必要ではないか。

○事務事業：行政評価システム推進事業

【主な意見】

- ・マネジメントシートの中に予算も人件費も入っていないので、経費がどの程度でどういうサービスを行なっているか数字がないと評価できない。
- ・推進事業なので、なかなか指標で測れないことは理解できる。
- ・全ての事業において言えることだが、目的に沿った成果指標となっている方が少ないのではないか。施策の成果として分かる指標に設定しないと評価自体が成り立たない。
- ・評価自体の効果が不明である。評価すること自体に時間がかかっているのではないか。評価する時間があれば別の仕事をした方がいいという状態であれば良くない。
- ・行政評価の仕組みを入れたことによって、夏の段階から来年度に向けてどうするかということを検討していかないと予算要求が出来ない仕組みだとか、予算要求段

階の歳入と歳出のギャップは少なくなっていると聞いたが、そういう効果が成果指標に入ってくればいいと思う。

- ・成果指標の部分は、行政が何を目標しているのか大事な部分であり、明確化する必要がある。
- ・評価は厳しくという方向になりがちではあるが、良い結果については、ちゃんと評価されるべきである。
- ・数字に表れるのが全てだとは思わないので、主観的な評価があって良い。
- ・市民アンケートの結果を指標に使用しているが、無理矢理アンケート結果を入れているように見えるため、アンケートを行政評価と合うような形に改善すべき。

○ヒアリング後の意見交換

- ・予算編成に反映させるとのことだったが、それだけではない。昨年の行政評価委員会の結果がどのように反映されているのか具体的に知りたい。われわれが述べた意見やマネジメントシートに書かれた内容がどのように改善につながっているのか。
- ・指標がどういった議論をもとに決められたのかが分かれば理解できると思う。
- ・施策の成果指標の見直しは3年毎等やはり必要だと思う。

5 傍聴人数

- (1) しごと部会 0人
- (2) くらし部会 0人
- (3) 人づくり部会 1人

6 問い合わせ先

花巻市政策推進部企画調整課

電話番号：0198-24-2111（内線211）